科目名	メーキング基礎実習 I			授業のねらい			
担当教員	伊藤、北山						
対象学年	1年			ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をア イテム毎に習得していく。			
単位区分	必修						
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標			
開講期間	2025.4.1~2026.3						
授業形態	実習			新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。			
備考	実務経験有=	伊藤(ジュエリー作) 北山(ジュエリーデ	家) デイナー)				
授業の計画展開	メーキング基礎実 内容 メーキング基礎実 内容 メーキング基礎実 内容 メーキング基礎実 内容 メーキング基礎実	平打ちリングと甲 習 I -2(WAX月 ワックス素材を使 習 I -3(ソリテー カボッションカット 習 I -4(ソリテー ラウンドCZを使用 フウンドCZを使用 と習 I -6(ロケット	丸リングの制作を 丸リング制作) 田したリングの基 ルリング) 石を使用した覆軸 ルペンダント) 日し4本爪留め石座 金具) 日し4本爪留め石座 ペンダント) ひ割し4本爪のの石座 パンダント)	正通し、リングの基本的な制作プロセスと地金加工工具の取扱い方法を学ぶ 本的な制作プロセスとWAX加工工具の取り扱い方法を学ぶ 会(フクリン)石座のソリテールリング制作 Eのペンダントトップを制作 Eのペンダントトップを制作			
履修上の注意事項		基本的な工具の使用方法、用途を理解し、それぞれの課題毎に習得する基礎技法を身に付けたうえで進めていくことが重要である					
評価方法	1.課題作品:技術 *『授業の計画展			:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 。			
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	に リーカレッジ オ	リジナルテキスト				
参考文献	ジュエリー・バイフ	 ブル、世界のジュコ	 Eリーアーティスト				

科目名	メーキング造形実習 I			授業のねらい			
担当教員	伊藤、北山						
対象学年	1年			イテム毎に習得していく。 また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。金属以外の素材を使用した課題では、ターゲットに向けたジュエ			
単位区分	必修			リー制作の為のリサーチ方法を習得していく。			
授業時数	472時間	単位数	15単位	到達目標			
開講期間	2025.4.1~2026.3			 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それ			
授業形態	実習			に基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。			
備考		伊藤(ジュエリー作) 北山(ジュエリーデ					
	メーキング造形実習 I -1 (WAX造形) 内容 WAX素材を使用し、立体造形の制作手順と表現方法を演習する メーキング造形実習 I -2 (ペンダント制作) 内容 透かした銀板を重ね合わせたオーバーレイ技法を用いたペンダント制作 メーキング造形実習 I -3 (material jewelry) 内容 べつ甲を使用した商品を企画制作する(企業協賛課題) メーキング造形実習 I -4 (ミル留め) 内容 ミル留め技法を使用したジュエリーを制作 メーキング造形実習 I -5 (ジュエリーコンペティション) 内容 一年間で学んだ技術や技法を使ったオリジナルデザインリング制作						
履修上の注意事項		指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である					
評価方法			性 2.制作意欲 に成績評価します	(: 探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 「。			
テキスト	ヒコ・みづのジュニ	Eリーカレッジ オ 	リジナルテキスト				
参考文献	ジュエリー・バイフ	ブル、世界のジュニ	エリーアーティスト				

科目名	デザイン実習 I			授業のねらい		
担当教員	北山、船越			ご_ エローニヸ ハ ルカ 亜 ヤ 甘木 かかし、が し、が 制 団 註 柳 ナ 取得していく		
対象学年	1年			ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解を習得していく。 		
単位区分	必修					
授業時数	208時間	単位数	7単位	到達目標		
開講期間	2025.4.1~2026.3					
授業形態	実習			ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。		
備考	実務経験有=船		デイナー)			
授業の計画展開	 北山(ジュエリーデザイナー) デザイン実習 I -1(カウンタースケッチ) 内容 iPadによるジュエリーデザイン(グラ色彩学 デザイン実習 I -2(製図の基礎1) 内容 dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解/dr8甲丸リング作図 デザイン実習 I -3(製図の基礎2) 内容 dr10リングの構造/dr11石付きリングの相2 1個石リングの表現 デザイン実習 I -3(製図の基礎2) 内容 立体デザイン/観察スケッチiPadの活用 デザイン実習 I -4(製図の基礎3) 内容 dr13 取り巻きリング デザイン実習 I -5(デザインの展開) 内容 マテリアルリサーチ デザイン実習 I -6(Shaoer3D) 			/dr6質感表現1/dr7平打ちリング作図		
履修上の注意事項	基礎的な描画技法の習得と適切な道具の使用が出来ていることが重要であり 市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である					
評価方法	課題提出の内容、 *授業の計画展開			<u> </u>		
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	<u></u> にリーカレッジ オ	リジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイフ	ブル」				

科目名	宝石学 I			授業のねらい
担当教員	森			1
対象学年	1年			宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光 学的特性、処理や合成など)を幅広く習得していく。
単位区分	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標
開講期間	2025.4.1~2026.3			
授業形態	講義			広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とす る。
備考	実務経験有=森	(宝石鑑定士)		
	宝石学 I −1(カラ	ーストーン)		
	内容	宝石学における、	カラーストーンの	D基礎知識の習得
授業の計画展開				
履修上の注意事項	カラーストーンの	基礎知識に関する	5ペーパーテスト	を実施。70%以上の正解率であることが重要である。
評価方法	ペーパーテストの	得点		
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	こリーカレッジ オ	リジナルテキスト	
参考文献	「ジュエリーバイフ	<u></u> ブル」		

科目名	メーキング基礎実習 Ⅱ			授業のねらい			
担当教員	伊藤、矢野尾			高級宝飾技法の習得と理解。高級宝飾に使われる石の留め方、素材を			
対象学年	2年			決められた図面に合わせ、制作できる技樹を習得していく。			
単位区分	必修						
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標			
開講期間	2025.4.1~2026.3						
授業形態	実習			新たな加工法・素材と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。			
備考	実務経験有=	伊藤(ジュエリー作家 矢野尾(ジュエリーテ	₹) *ザイナ ー)	で日 作 とり 心。			
			作、打ち延べリング				
	<u>内容</u> メーキング基礎実	宝飾工具の制作、 ≧習Ⅱ-2(すり出し	<u>. 打ち延べ技法の</u> 石座ペンダント)	留得			
	内容	宝飾工具の制作、	. ヤスリによるすり	出し石座制作			
		Ⅱ-3(宝飾ベーシ					
	内容ペンダントの腰制作、打ち出し技法			か習得			
	メーキング基礎実習 Ⅱ -4(パヴェセッティング実習) 内容 パヴェセッティングによる石留め技法の習得						
授業の計画展開		パウェセッティンク 図Ⅱ-5(七宝実習		医の背待 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日			
	内容 象嵌七宝リング、透胎七宝ペンダント制作						
	メーキング基礎実	『習Ⅱ―6(プラチナ	実習)				
	内容	プラチナワイヤー	ワークの習得				
	指定の金属加工法を習得することが重要である。						
評価方法			探究心・日頃の制こ成績評価します。	作姿勢、出席状況による総合評価			
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	に リーカレッジ オリ	Jジナルテキスト				
参考文献	「ジュエリーバイフ	ブル」					

科目名	メーキング造形実習 Ⅱ			授業のねらい		
担当教員	伊藤、矢野尾					
対象学年	2年			宝飾の伝統技法(石留め、彫り)を用いた作品制作を通し、技術向上及び 社会的提案力を習得していく。		
単位区分	必修					
授業時数	512時間	単位数	15単位	到達目標		
開講期間	2025.4.1~2026.3					
授業形態	実習			技術の習得とプレゼンテーション能力の向上を目標とする。		
備考	実務経験有=	伊藤(ジュエリー作家 矢野尾(ジュエリーラ	家) デザイナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習 II -1(ストーンセッティングリング) 内容 擦り出し石座技法を用いたオリジナルデザインリングの制作 メーキング造形実習 II -2(洋彫りペンダント作品制作) 内容 洋彫り技法を用いたペンダント制作 メーキング造形実習 II -3(K18カクテルペンダント制作) 内容 K18線材を使用した様々な石のワイヤーセッティングペンダントを制作 メーキング造形実習 II -4(作品制作) 内容 石留めを用いたジュエリー制作					
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。					
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。					
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	に リーカレッジ オ	リジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイフ	ブル」				

科目名	デザイン造形実習 Ⅱ			授業のねらい			
担当教員	北山、梅山			1年次に学んだ基礎技法に基づき、新たな描写技術を習得し、自身のジュエ			
対象学年				リーデザインに応用していく。 また、市場動向や指定テーマに基づき、表現を模索し、展開を重ねジュエリー デザインまで繋げる技術を習得していく。			
必修選択の別	必修			さまざまな講義から自身の今後の可能性を探る。			
授業時数	208時間	単位数	7単位	到達目標			
開講期間	2025.4.1 ~ 2026.3						
授業形態	実習			モチーフの捉え方、表現方法を学び、指定条件から導き出したコンセプトに基 づき、宝飾技法を踏まえた実現性のあるジュエリーデザインを完成することを			
備考	実務経験有=		枚育家) ーデザイナー)	目標とする。また、モノづくりに関連した講義により自分が取り巻く身近な事と歴史や社会問題を結びつけて考察することを目標とします。			
授業の計画展開	 実務経験有= 北山(ジュエリーデザイナー) デザイン実習Ⅱ-1(製図&パースアドバンス) 内容 取り巻きリング、サイドメレリング マリッジリング、エンゲージリング プレゼンテーション基礎 デザイン実習Ⅱ-2(プレゼンテーション) 内容 セットジュエリーデザイン ジュエリーデザイン ジュエリーブランド研究 ショップリサーチレポート デザイン造形実習Ⅱ-3(企業連携特別課題) 内容 市場動向にあわせたオリジナルブラン デザイン造形実習Ⅱ-4(デジタルポートフォリオ) 内容 PCを使ったポートフォリオの作成 デザイン実習Ⅱ-5(リフォームジュエリー) 内容 ジュエリーリフォームの習得 			ランド考案			
履修上の注意事項	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適な提案とデザインを選択し、完成出来ることが重要である。						
評価方法	1.課題作品:描写	1.課題作品:描写力・展開力 2.制作意欲:制作意欲:探究心・受講態度、出席状況による総合評価					
テキスト	ヒコ・みづのジュエ	ニリーカレッジ オ	リジナルテキスト				
参考文献	「ジュエリーバイブ	ブル」					

科目名	宝石学Ⅱ			授業のねらい		
担当教員	森、加藤					
対象学年	2年			宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光 学的特性、処理や合成など)を幅広く習得していく。		
単位区分	必修					
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標		
開講期間	2025.4.1~2026.3]		
授業形態	講義			広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とす る。		
備考	実務経験有=森	、加藤(宝石鑑定	±)	1		
	宝石学Ⅱ-1(ダイ	'ヤモンド)				
	内容	宝石学における、	ダイヤモンドの基	基礎知識の習得		
授業の計画展開						
履修上の注意事項	カラーストーンの基礎知識に関するペーパーテストを実施。70%以上の正解率であることが重要である。					
評価方法	ペーパーテストの	ペーパーテストの得点				
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	エリーカレッジ オ	リジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイフ	ブル」				

科目名	メーキング造形実習Ⅲ			授業のねらい		
担当教員	村瀬、濱崎					
対象学年	3年			日本の伝統技法を習得し、三学年を通した技術を活用しながら、 社会的発信力を習得していく。		
単位区分	必修					
授業時数	768時間 単位数 23単位			到達目標		
開講期間	2025.4.1 ~ 2026.3					
授業形態	実習			新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それ 」に基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。		
備考	実務経験有=	村瀬(ジュエリーブラ 濱崎(ジュエリー作®	ランドオーナー) 家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅲ-1(七宝ペンダント) 内容 七宝によるオリジナルジュエリー メーキング造形実習Ⅲ-2(デザインプロジェクト) 内容 テーマからのリサーチ、考察からジュエリー制作 メーキング造形実習Ⅲ-3(卒業制作リサーチ) 内容 作品制作におけるアイデア展開演習 メーキング造形実習Ⅲ-4(卒業制作) 内容 作品制作、展示会開催 メーキング造形実習Ⅲ-5(伝統技法実習) 内容 木目金、サンドキャスティング技法によるジュエリー制作					
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である。					
評価方法	1.課題作品:技術 *『授業の計画展	f力・造形力・独創 開』にある課題毎	性 2.制作意欲:† に成績評価します。	深究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価		
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	ローカレッジ オ	リジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイフ	ブル」				

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい			
担当教員	北山、船越、武田						
対象学年	3年			3年目の集大成として、立体造形物ではなく、平面上で自身のアイデアや提案を自由に表現出来るように技術を習得する。			
単位区分	必修						
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標			
開講期間	2025.4.1~2026.3	I					
授業形態	実習			ジュエリーで表現できる新しい価値観を体験し、つくり方に関する情報をリサー チし、提案・制作出来る技術習得を目標とする。 また、モノづくりに関連した講義により自分が取り巻く身近な事と歴史や社会問			
備考	実務経験有=	森(宝石鑑定士) 武田(販売レクチ		題を結びつけて考察することを目標とします。			
	内容	伝統工芸及び伝	ンペティション出品 統産業のリサーチ	- 品 f &プレゼンテーション			
	デザイン造形実習Ⅲ-2(コンテスト) 内容 外部コンテスト出品						
	デザイン造形実習Ⅲ-3(リサーチ2) 内容 ブランディング及びプレゼンテーション						
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-4(リサーチ3) 内容 自己ブランドの販売の振り返りとプレゼンテーション						
	内容	デザイン造形実習Ⅲ-5(ハイジュエリー1) 内容 テーマに沿ったハイジュエリーのリサーチ					
	内容		エリーの提案及び	•			
	デザイン造形実習皿-7(CADアドバンス) 内容 Sub-D機能を用いた有機的な曲線作成の習得						
履修上の注意事項	市場動向や指定	市場動向や指定のテーマに対する多くの展開から最適なデザインを選択し、完成させることが重要である。					
評価方法	1.課題作品:展開	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価					
テキスト	ヒコ・みづのジュニ	エリーカレッジ オ	リジナルテキスト				
参考文献	「ジュエリーバイフ	ブル」					

科目名	美術史デザイン概論皿			授業のねらい		
担当教員	北山			1		
対象学年	3年			日本では流通していない、幅広廃ジュエリーの世界を知り、マーケットやターゲット など幅広くリサーチ。オリジナルデザインを考案するプロセスを学ぶ		
単位区分	必修					
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標		
開講期間	2025.4.1~2026.3					
授業形態	演習			テーマに沿ったハイジュエリーのリサーチ及びプレゼンテーション		
備考	実務経験有=北に 美術史デザイン根		ドイナー)			
授業の計画展開			ハイジュエリーの !	Jサーチ及びプレゼンテーション		
履修上の注意事項	CADソフトで作成したデータは、造形及び仕上げ加工が可能な精度であることが重要である。					
評価方法	1.課題作品:造形力 2.制作意欲:探究心・受講態度による総合評価					
テキスト	ヒコ・みづのジュエ	ニリーカレッジ オリ	リジナルテキスト			
参考文献	なし					

科目名	宝石学Ⅲ			授業のねらい	
担当教員	森				
対象学年	3年			宝石に関する全般的な基礎知識(流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的 特性、処理や合成など)を幅広く習得していく。	
単位区分	必修				
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標	
開講期間	2025.4.1~2026.3				
授業形態	講義			広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。	
備考	実務経験有=森 宝石学Ⅲ-1(カラ				
授業の計画展開	内容	宝石学における、	カラーストーンの		
履修上の注意事項	カラーストーンの	基礎知識に関する	ペーパーテストを	生実施。70%以上の正解率であることが重要である。	
評価方法	ペーパーテストの得点				
テキスト	ヒコ・みづのジュコ	ニリーカレッジ オリ	Jジナルテキスト		
参考文献	「ジュエリーバイフ	「ル」			